

2020年3月19日
第34回通常総会議案資料-1

2019年度事業報告

平成の時代が終わり令和元年となった昨年は「国際観光旅客税」が導入され、10月には消費税率が10%に引き上げられるなど旅行需要への影響が懸念されたが、観光庁が「若者のアウトバウンド活性化に関する検討会」で「海外体験の増加のための取組案」をまとめたことや、ゴールデンウィークが10連休となったこと等がプラス要因となり出国者数は過去最高となり2,008万人に達し、また、G20やラグビーワールドカップ開催等も功を奏し訪日外国人は3,188万人に達した。

この追い風を好機と捉え会員各社は人材募集に努めたが、応募は高齢者が多く若年層の確保に苦慮した一年であった。

協会は設立35年となるが、添乗員の高齢化と共に会員企業の代表者の高齢化及び派遣事業更新要件が派遣法改正により高まったこと等により事業廃止した会員も出てきた。一方、上昇し続けるインバウンド業務対応可能な添乗員をインバウンドスタッフ等として活躍してもらいたいことから「産業別高齢者雇用推進事業」を厚生労働省から受託しガイドブックを作成した。また、「インバウンドスタッフ検定(仮称)」についての作業スケジュールを厚労省に提出したものの回答を得られぬまま次年度事業に持ち越されることとなった。

従来、東京で開催されてきた「ツーリズムEXPO」が昨年は初めて大阪で開催されたため、協会主催の「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2019」の表彰式も大阪で開催した。また、添乗員には現場で発生する諸トラブルに対し最善な判断を下しツアーを円滑に推進する能力が求められることから、「大変な仕事」と考えられている。しかしながら、「大変さ」に勝るやり甲斐や達成感が得られる仕事であること、添乗の楽しさ、歓び等を各受賞者に語ってもらう「添乗シンポジウム」も同時開催した。

政府の「働き方改革」に関連して厚生労働省が発表した「時間外労働の上限規制」及び「同一労働同一賃金」に対し添乗業界はどう対処すべきかといった課題が急浮上したが、協会及び会員各社で解決できないため観光庁支援のもと厚生労働省、JATA、ANTA、サービス連合等へも呼びかけ「持続可能な添乗サービスを提供するための検討会」が設置された。

協会の収益事業として貢献してきた「旅程管理主任者研修」は好調に推移したが、一方で「派遣元責任者講習」の受講者が減少し苦戦したことにより地方開催を試みた。会員企業及び事業収入の減少のみならず賃貸料の値上げ要求がなされ現事務局内スペースの有効活用が困難との判断の下、事務局移転先を検討せざるを得なくなった。

I. 組織活動関係

1、総会

定款第 16 条の規定に基づき、2019 年 3 月 26 日(火)メルパルク東京において第 33 回通常総会を開催した。

(1) 提出議案

第 1 号議案：2018 年度事業報告及び収支決算報告について

第 2 号議案：2019 年度事業計画案及び収支予算について

第 3 号議案：2019 年度・2020 年度役員選任について

第 4 号議案：2019 年度・2020 年度顧問選任について

(2) 出席者数

2019 年 3 月 26 日現在、正会員 38 社、うち出席正会員 20 社、委任状提出正会員 18 社、合計 38 社

2、理事会

定款第 35 条の規定に基づく 2019 年度の理事会は 4 回開催され、各議案について検討審議が行われた。

(1) 第 138 回理事会

日時：2019 年 2 月 22 日（金）15 時 00 分～17 時 30 分

場所：TCSA 会議室

議題：1 号議案 第 33 回通常総会提出議案について

2 号議案 協会の資産運用について

3 号議案 TCSA 添乗員表彰について

(2) 第 139 回理事会

日時：2019 年 3 月 26 日（火）15 時 20 分～15 時 30 分

場所：メルパルク東京

議題：1 号議案 代表理事の選任について

(3) 第 140 回理事会

日時：2019 年 9 月 27 日（金）15 時 00 分～17 時 00 分

場所：TCSA 会議室

議題：1 号議案 経費削減策（事務所移転）について

(4) 第 141 回理事会

日時：書面持ち回り

場所：書面持ち回り

議題：1 号議案 正会員の入会について

3、地区協議会

北海道、関東、中部、関西、九州各地区の会員で構成する「地区協議会」を各1回開催した。地区協議会では、会員との話し合いに主力をおき、会員が直面する課題、TCSAへの要望・提案事項等について意見交換を行った。

地区	日	参加会員数	議題
北海道	2019年6月4日(火)	10社	①2019年度事業計画について ②受託事業「高齢者雇用推進事業」について ③時間外上限規制への対応について ④TCSAに対する要望
関東	2019年7月23日(火)	13社	
中部	2019年6月25日(火)	12社	
関西	2019年7月17日(水)	13社	
九州	2019年7月10日(水)	12社	

II. 運営幹事会

運営幹事会は、2月、6月、9月、12月年間合計4回開催した。人材育成、コンプライアンス推進、広報イベントの各委員会及び理事会の報告や現在会員会社が最も緊急に解決しなくてはならない課題について議論された。

具体的な内容としては、時間外上限規制の対応、同一労働同一賃金への対応方、インバウンド業務検定、2020年度事業計画等についての検討を行った。

III. 人材育成委員会

本年度の人材育成委員会は、2月、5月、8月、11月の計4回開催した。例年実施している「ブラッシュアップ研修 (TCSA 主催)」及び「レベルアップ研修 (TCSA・JATA 共催)」の内容の検討、添乗員能力資格認定試験実施方針の検討、旅程管理研修テキスト改正、消費税改正に伴う研修受講料金・主任者証発行手数料に関する検討等を行った。

1、基礎研修及び旅程管理研修

基礎研修eラーニング受講者数は、個人受講者は計画を若干下回ったが、正会員受講者は計画を大幅に上回り、合計で計画比182.3%であった。

旅程管理研修では、国内研修は総計1,287名(計画比:119.6%、前年比:124.8%)、総合研修は総計415名(計画比:156.6%、前年比:157.1%)で国内研修・総合研修共に計画及び前年を上回った。特に出張講座が国内・総合共に大きく前年を上回った。東京及び大阪地区は定期開催とし、その他地区については出張講座で実施した。

(1) 基礎研修 (eラーニング)

	2019年度計画	2019年度実績	計画比
個人受講者	30名	25名	83.3%
正会員受講者	100名	212名	212.0%
計	130名	237名	182.3%

(2) 国内研修

地区	新規受講			再受講		
	受講者数	計画数	計画比	受講者数	計画数	計画比
東京	87名	100名	87.0%	1名	5名	20.0%
大阪	55名	50名	110.0%	5名	5名	100.0%
その他	1,132名	900名	125.7%	7名	5名	140.0%
計	1,274名	1,050名	121.3%	13名	15名	86.6%
合計	1,287名 (前年比124.8%、計画比119.6%)					

(3) 総合研修

地区	新規受講			国内免除			再受講		
	受講者数	計画数	計画比	受講者数	計画数	計画比	受講者数	計画数	計画比
東京	57名	50名	114.0%	17名	20名	85.0%	1名	5名	20.0%
大阪	32名	20名	160.0%	18名	10名	180.0%	0名	0名	—
その他	165名	60名	195.0%	125名	100名	125.0%	0名	0名	—
計	254名	130名	275.0%	160名	130名	123.0%	1名	5名	20.0%
合計	415名 (前年比157.1%、計画比156.6%)								

2、研鑽研修

(1) レベルアップ研修

JATA との共同開催による旅行会社社員添乗員との合同参加の「添乗業務レベルアップ研修」を昨年同様東京と大阪で3月に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送ることとした。

地区	実施日	テーマ	受講人数
東京	2020年3月2日(月)	添乗業務の再確認とトラブル対応	開催中止
	2020年3月3日(火)	①添乗員に必要な正しい約款の運用 ②アンガーマネジメント研修	開催中止
大阪	2020年3月16日(月)	添乗業務の再確認とトラブル対応	開催中止
	2020年3月17日(火)	①添乗員に必要な正しい約款の運用 ②アンガーマネジメント研修	開催中止

(2) ブラッシュアップ研修

本年度は名古屋地区協議会からの要望により、地域主導で下記テーマ・講師を選定し実施した。

地区	実施日	テーマ	受講人数
名古屋	2020年1月28日(火)	①旅程保証の理解	77名
	2020年2月19日(水)	②ホスピタリティ、コミュニケーション研修	70名

3、旅程管理研修の「テキスト」、「修了テスト」の見直し

実務科目に関するテキスト及び修了テストの見直しを行った。2020年4月実施の旅程管理研修より使用予定。

4、添乗員能力資格認定試験の実施

第24回となる認定試験を2020年1月28日に一次試験を実施した。

受験者数は昨年に引き続き、添乗員の評価制度に当試験を導入したTCSA会員の受験があったが、昨年を下回る結果となった。

今年度より経費削減を図るべく、問題作成（一部を除く）及び採点、解説書の作成について内製化を図った。

- (1) 総受験者数は167名で前年比51.5%。
- (2) 前年に引き続き観光庁後援の下実施した。
- (3) 「1級認定バッジ」は今年の1級認定者に配布。

5、TCSA共済会収支報告

会員数はほぼ前年並みであった（2018年度2,407名、2019年度2,419名）。支出は昨年より509千円少なく、収支差額は+1,362,667円であった。

収支計算書は次ページ参照。

2019年度 TCSA共済会収支計算書
(2019年1月1日～2019年12月31日)

収 入		支 出	
2019年度会費収入	4,728,000	給付金	2,501,000
受取利息(証券利息)	84,937	雑費(振込料)	32,472
小 計	4,812,937	小 計	2,533,472
		人件費	554,246
		通信費(電話代含む)	4,558
		賃借料	99,518
		保守料(ネット関係費)	-
		水光熱費	4,338
		雑費(消耗品)	30,000
		顧問料	132,000
		福利厚生費	92,138
		小 計	916,798
収入計	4,812,937	支出計	3,450,270
		収支差額	1,362,667
前年度繰越	37,717,179	次年度繰越	39,079,846

2019年度 給付件数・給付額		
給付内容	件数	給付額
パスポート再取得金	5件	¥75,000
香典代	48件	¥480,000
結婚祝金	13件	¥390,000
出産祝金	9件	¥90,000
入院見舞金	37件	¥910,000
海外援助者補助金	0件	¥0
盗難見舞金	9件	¥175,000
災害見舞金	1件	¥30,000
障害給付金(2級～5級)	0件	¥0
死亡弔慰金	0件	¥0
香典	0件	¥0
能力認定合格祝金	3件	¥9,000
プラッシュアップ研修受講補助金	16件	¥16,000
リゾート・レクリエーション補助金	0件	¥0
退会返戻金	32件	¥326,000
合 計	173件	¥2,501,000

IV. コンプライアンス推進委員会

本年度コンプライアンス推進委員会は、2月、5月、8月、11月の合計4回開催した。

1. 添乗業務における労働時間管理導入状況の把握及び周知徹底

昨年に引き続き、TCSA 会員が添乗員を派遣している主な派遣先旅行会社の導入状況を委員会開催の都度確認し、最新情報の共有を行った。

2. 「働き方改革」における「時間外労働上限規制」への対応状況の把握

各社の対応状況を把握するとともに、TCSA から観光庁に申し入れを行い、非公開ではあるが、観光庁・厚生労働省・TCSA・JATA・ANTA・サービス連合で組織する「添乗サービスを持続的に提供するための検討会」を設置し同問題に関する検討を行った。

3. 2020年派遣法改正に向けた検討

「同一労働同一賃金」に関して、委員会社を対象に「働き方改革推進支援センター」主催のセミナーを行った。

また、TCSA 会員だけではなく、派遣先である旅行会社の理解・協力も必要不可欠であることから、TCSA・JATA・ANTA 共催の「同一労働同一賃金セミナー」を厚生労働省・労働局から講師を招き、東京と大阪で開催した。東京での内容を他地区の会員も視聴できるよう、「ライブ配信」による視聴の対応も行った。

2019年12月には、TCSA 会員及び旅行会社代表者宛に同一労働同一賃金に伴う派遣料の改定に関する依頼書面を送付した。

V. 広報イベント委員会

本年度広報イベント委員会は5月、8月12月の合計3回開催した。

1. TCSA NEWSの発行

2019年度は前年同様、3回発行した(4月、9月、12月)。

2. 「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2019」及び「パネルディスカッション」の実施

2019年度は「ツーリズム EXPO ジャパン」が初めて大阪で開催されたことに伴い、表彰式及びパネルディスカッションについても大阪での同イベントの中で開催した。

①ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2019の実施

13～15 ページ参照

②パネルディスカッションの実施

2019年10月25日(金)に初の大阪での開催となった「ツーリズム EXPO ジャパン」業界日のステージで行い、旅行会社、添乗員派遣会社、添乗員、業界関係者約100名が参加。

TCSA 三橋会長がモデレーターとなり、パネリストとしてツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2019 の受賞者に登壇してもらい、「添乗員が同行するツアーの有用性」等をテーマに語ってもらった。

3. 若年添乗員インタビューの実施

添乗員の高齢化が進み、若年層の添乗員確保が困難になっている中、若年添乗員のモチベーションや仕事のやりがい等をどのように考えているのかを探り、今後の人材確保の一助にすることを目的に、委員会社に所属している経験の浅い若年添乗員 8 名に対しインタビューを実施した。その内容については TCSA NEWS にも掲載した。

4. ツアコンカフェの開催

昨年に引き続き、添乗業界に興味関心のある大学・専門学校の学生と現役のツアーコンダクターが気軽に話ができる場として「ツアコンカフェ」を 2020 年 2 月 28 日と 3 月 6 日に TCSA 研修室で設定をし、43 名の申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせることにした。

5. 添乗員に係る各種表彰制度

特別永年勤続表彰者、永年勤続表彰者の審査を行い、功績表彰 2 名、特別永年 19 名、永年勤続 143 名を承認し理事会に付議した結果、原案通り承認され 3 月の通常総会会員懇談会で表彰式を行うことになった。また、各地域の運輸局長表彰を 11 名が受賞し、大臣表彰には 3 名の添乗員が受賞した。

VI. 受託事業関係

1. 派遣元責任者講習会

2019 年度は計 53 回開催した（昨年 55 回）。開催地区については、昨年同様、札幌・東京・横浜・大阪・広島・福岡で実施した。

受講者数は前年を下回り、合計では 1,155 名で前年比 64.4%、計画比では 92.4%であった。

【2019 年派遣元責任者講習開催地区】

札幌・東京・横浜・大阪・広島・福岡

【2019 年度受講実績】

2019 年 受講人数	前年度 受講人数	2019 年 計画人数	前年比	計画比
1,155 名	1,791 名	1,250 名	64.4%	92.4%

- ・2017年度 受講人数 2,125名 講習会事業収入 18,773千円
- ・2018年度 受講人数 1,791名 講習会事業収入 15,786千円
- ・2019年度 受講人数 1,155名 講習会事業収入 10,208千円

2. 優良派遣事業者認定制度における「審査機関」としての対応

国が一定の基準を満たした派遣事業者を「優良派遣事業者」として認定する制度として、TCSAは申請のあった事業者を審査する「認定審査機関」として審査業務を昨年引き続き受託した。今年度は5社の申請があり、4社の認定を行った。

3. 高齢者雇用推進事業

添乗員の高齢化が進む中、今後より一層シニア添乗員を戦力として活用していくことが必要とことから、「高齢・障害・求職者雇用支援機構」の受託事業である「高齢者雇用推進事業」を昨年より受託し、シニア添乗員の職域の拡大を目的としたガイドライン作りに取り組むこととした。

本事業は2年間（2018年4月20日～2020年3月15日）の事業で、「推進委員会」を設置して、今年度、2年目の事業に取り組んだ。

実施した主な内容及び推進委員会メンバーは以下の通り。

【2年目事業】

- ①推進委員会の設置
- ②ガイドラインの作成
- ③普及啓発セミナーの開催（東京：2020年2月18日、大阪：2020年2月25日）

【推進委員会】

	氏名	会社名（所属先）	役職
座長	御子柴清志	桜美林大学 名誉教授	
委員	横山弘	(株)J&Jヒューマンソリューションズ*	代表取締役社長
委員	松本達也	(株)フォーラムジャパン	代表取締役社長
委員	石井光彦	(株)旅行綜研	代表取締役社長
委員	和田修寛	(株)ツーリストエキスパート	代表取締役社長
委員	三橋弘	(株)TEI	代表取締役社長

VII. ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2019

今回で14回目を迎えた「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2019」表彰をインテックス大阪で開催した「ツーリズムEXPOジャパン」のステージで以下の通り実施した。

1 主催：“ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー” 実行委員会

後援：国土交通省・観光庁・(一社)日本旅行業協会・(一社)全国旅行業協会・(公社)日本観光振興協会・(一社)日本海外ツアーオペレーター協会・(一社)日本添乗サービス協会

協賛：サンコー鞆㈱・DFSグループリミテッド

協力：㈱トラベルジャーナル・㈱観光経済新聞社

2 選考委員会：

選考委員会	氏名	役職
委員長	吉村 作治	早稲田大学名誉教授・エジプト考古学者
委員	奈良 和美	観光庁 参事官
委員	南 砂	読売新聞社 常務取締役
委員	田川 博己	㈱JTB 代表取締役会長・JATA 会長
委員	菊間 潤吾	㈱ワールド航空サービス 代表取締役会長・JATA 副会長
委員	坂巻 伸昭	東武トップツアーズ㈱代表取締役社長・JATA 副会長
委員	清水 誠	中村学園大学短期大学部 名誉教授
委員	山田 隆英	(一社)日本添乗サービス協会 顧問

3 選考経緯：

- (1) 2019年4月に正会員会社38社及び賛助会員旅行会社13社に候補者の推薦を依頼、5月下旬に応募受付〆切、会員会社10社から16名が推薦された。
- (2) 実行委員会における事前の絞込みは割愛し、候補者全員を最終選考委員会に提出することとした。
- (3) 当該16名分の推薦書類関係資料等を送付の上、全選考委員に書面審査を依頼
- (4) 7月8日に吉村委員長をはじめ委員7名出席のもと、最終選考委員会を開催した。選考委員一人あたりの持ち点を決めて、表彰事由、功績、人物像、添乗評価など総合的に協議し、合計獲得点数の上位から受賞者を選考した。

4 受賞者：

賞	受賞者氏名	所属会社	受賞理由
グランプリ 国土交通大臣賞	菅谷 眞弓	(株)ジャッツ	添乗経験 22 年のベテラン添乗員。ツアー参加客からの評価も常に高く、派遣先旅行会社のお客さまアンケートで 5 年連続一位を獲得し、派遣先からも「高評価添乗員」として過去 2 回表彰されている。常に「お客さま目線」でツアーを組み立てる力があり、出発前に手配不備なツアーに添乗しても、帰国時にはお客さま全員が感謝感激されるほど、「マイナスをプラスにしてしまう力」が抜き出ている。派遣先で定期開催される旅行説明会・旅行相談会に月 2 回のペースで対応し旅行販売にも貢献。派遣先が、JCSI（日本版顧客満足度指標）調査で 2018 年度顧客満足度第 1 位を獲得したが、この受賞にも大きく貢献。「ワインエキスパート認定証」を取得し、積極的に日本ソムリエ協会の実施するイベントに参加し、添乗につながる勉強を怠らない。お客さまからの評価のみならず、添乗報告書・精算書も非の打ち所がない完璧なものを作成し、所属添乗員の模範となる逸材。
準グランプリ 観光庁長官賞	榎井 康平	(株)ツーリストエキスパート	国内添乗を中心に活躍し、お客さまからの信頼と評価は常に高く、過去 3 年間のお客さまアンケートは所属添乗員の中でも常に上位の添乗員。昨年 5 月、「船でめぐる日本一周の旅 9 日間」のコースにパーキンソン病（要介護 2）のお客さまからの申し込みがあり、寄港地でのエクスカッションには参加困難であることを条件に参加されたツアーに添乗。当該お客さまとの話の中で「歩ける間に奥様と念願の屋久島と函館の夜景観賞をしたかった」ことが分かった。この願いを何とか叶えてあげたく、他の参加者へのケアもしながら、観光ではいつも遅れがちになるお客さまを気遣い、大王杉への難路は体を密着して支えて目的地まで案内。最後の旅行になるかもしれないお客さまの気持ちを察し、それを実行できたことに対し、お客さまからも大変感謝された。
委員長賞	高橋 栄	(株)フォーラムジヤパン	国内旅行では社寺仏閣を巡る旅、海外ではシベリア鉄道全線走破の添乗を中心に活躍。加えて極東シベリアの民族文化を訪ねる旅では、持ち前の知識を生かした案内でお客さまに深い感動を与え、多くのリピーターを獲得。特にシベリア鉄道ウラジオストク - モスクワ間の全長 9,259km 全線走破の旅は高橋添乗員ならではの専門知識と経験をフルに活かし企画から関わり、魅力あるツアー作りにも貢献。その結果、数多い添乗員の中から、派遣先旅行会社より年間の特別表彰を受賞した。後進の指導にも積極的に関わり、職業の魅力を経験の浅い添乗員に対し発信。技術的なアドバイスだけでなく、添乗員としてのキャリアプランが描けるような指導を行っており、後輩添乗員のお手本となる立ち居振る舞いは派遣先からも高く評価されている。
会長賞	安田 由佳	(株)JTB	所属会社に 30 人しかいない「グランドマスター添乗員（総添乗日数 3,000 日以上）」のひとり。2018 年度お客さまアンケート 2018 年年間評価点 99.0 点を獲得。新規コースである「西南仏コース」や「インドコース」等、定番コース以外の難しいコースもこなし、お客さま評価だけでなく、次に担当する添乗員に対しても日誌やレポートの作成、企画に対する改善点の提言等、添乗員仲間や企画担当者からの信頼も厚い。チャーター機利用の添乗でも、8 名の添乗員を取りまとめる「チャーターリーダー」としての役割も完璧に果たしツアー成功に貢献。毎日新聞社から「客に寄り添う旅のプロ」をテーマに取材を受け、記事が掲載され、職業の魅力を発信にも貢献。

優秀賞 2 名：長尾明美氏（(株)J&J ヒューマンリレーションズ）、山口美由紀氏（(株)トップスタッフ）

特別賞 1 名：マノージ・クマール氏（(株)ティーシーエイ）

奨励賞 9 名：渡邊里美氏（(株)J&J ヒューマンリレーションズ）、齋藤洋子氏（(株)J&J ヒューマンリレーションズ）、石川里佳氏（(株)J&J ヒューマンリレーションズ）、喜田くみ子氏（(株)J&J ヒューマンリレーションズ）、田村賢志氏（(株)J&J ヒューマンリレーションズ）、遠藤由美氏（(株)ジャッツ）、堀井宏哉氏（(株)ツーリストエキスパート）、安齋洋文氏（(株)TEI）、林亜子氏（ANA セールス(株)）

5 表彰式：

2019年10月25日に、インテックス大阪で開催された「ツーリズム EXPO ジャパン」のステージにおいて、受賞者4名に対する表彰式が挙行され、それぞれ表彰状及び副賞が授与された。

VIII. 総務関係

1、会員関係

- (1) 正会員：正会員数は、2019年度会費納入正会員は38社であった。
- (2) 準会員：準会員数は、2019年12月31日現在2名であった。
- (3) 賛助会員：賛助会員数は、2019年12月31日現在35社であった。

2、人事関係

(1) 役員

2019年度は協会役員の改選期であり、138回理事会で理事候補者として選任の上、3月22日に開催された第33回通常総会に付議された結果、原案通り承認され、同時に開催した第139回理事会において会長に三橋滋子、副会長に和田修寛、専務理事に横尾治彦が選任された。

(2) なお、承認された役員は次の通りである。

会長	三橋 滋子 (㈱TEI 代表取締役会長・ANTA 理事)
副会長	和田 修寛 (㈱ツーリストエキスパート 代表取締役社長)
専務理事	横尾 治彦 ((一社) 日本添乗サービス協会 専務理事)
理事	本保 芳明 (観光庁参与 国連世界観光機関駐日事務所代表)
理事	古木康太郎 (㈱グローバルユースビューロー 会長)
理事	座間 久徳 ((公財) 東京観光財団)
理事	有野 一馬 ((一社) 全国旅行業協会 専務理事)
理事	大畑 貴彦 ((一社) 日本海外ツアーオペレーター協会 会長)
理事	竹内 一修 (㈱エコーインターナショナル 代表取締役社長)
理事	黒田 満之 (㈱ジャッツ 代表取締役社長)
理事	石井 光彦 (㈱旅行綜研 代表取締役社長)
理事	伊藤 浩 (㈱トップ・スタッフ 代表取締役社長)
理事	高橋 直也 (㈱阪急トラベルサポート 取締役)
理事	横山 弘 (㈱J&J ヒューマンリレーションズ 代表取締役社長)
監事	前沢 永壽 (マエサワ税理士法人 理事長 税理士)
監事	藤淵 平和 (㈱エスティーエス 代表取締役会長)

(2) 委員会委員長

2019年度の委員会委員長は、前年同様、次の通りである。

*運営幹事会

委員長 三橋 滋子 (一社)日本添乗サービス協会会長

*人材育成委員会

委員長 榎 光義 (株)TEI 執行役員第一事業部長

*コンプライアンス推進委員会

委員長 杉村 和夫 (株)ツーリストエキスパート 経営戦略部副部長

*広報イベント委員会

委員長 南方宏之 (株)ティーシーエイ 執行役員管理本部長

3、TCSA ニュースの発行

2019年度は、協会機関誌「TCSA NEWS」は下記の3号を発刊した。

	OPINION	特集	トップ インタビュー	TCSA レポート
97号 (4月26日 発行)	令和の時代へ 添乗サ ービスの魅力・価値を 考える (株)ツーリストエキス パート 代表取締役社長 和田 修寛 氏	働き方改革関連法「時 間外労働の上限規制」 が添乗サービスに与 える影響	株式会社ユーラシア 旅行社 代表取締役社長 井上 利男 氏	・「添乗員能力資格認定制度」 ・第83回通常総会報告 ・添乗あれこれ ・2000日添乗員のコツコツ 奮闘記 ・国土交通大臣表彰
98号 (9月19日 発行)	添乗員・旅行会社・派 遣会社の普遍的な共 同作業「添乗員の社会 的地位の向上と処遇 改善」 (株)旅行綜研 代表取締役社長 石井 光彦 氏	3年目を迎える 「TCSA 添乗員賠償 制度」	株式会社読売旅行 代表取締役社長 坂元 隆 氏	・「ツアコンタクト・オブ・ザ・イ ア-2019表彰式&ハレデーイカッ ション」 ・添乗あれこれ ・2000日添乗員のコツコツ 奮闘記 ・同一労働同一賃金セミナー の開催
99号 (12月27日 発行)	2020年東京オリンピ ックを迎えて (株)エスティーエス 取締役社長 忽那 裕 氏	大阪初開催「ツアコンタ クト・オブ・ザ・イア-2019 表彰式&ハレデーイカッ ション」を開催	観光庁長官 田端 浩 氏	・広報イベント委員会主催 「若年添乗員インタビュー」 ・同一労働同一賃金セミナー ・第34回通常総会のお知らせ